

## 第19回 世界歴史都市会議への招待

市長及び関係者の皆様

リュブリャナ市は、2024年世界歴史都市会議の開催都市となりましたことをここに謹んでご報告申し上げますと同時に、11月12日から14日までの日程で、加盟都市市長の皆様を私共の美しい街にご招待申し上げます。

会議のメインテーマ、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」の下、世界各地の歴史都市の代表の皆様が共に、会議を通して、持続可能なモビリティ及び都市の活性化について意義ある議論の場を持つことがこの会議の趣旨となります。会議が予定されている会場は「センターログ」と呼ばれる歴史的な自転車工場をリノベーションしたものであり、この建物は、リュブリャナ市が文化的な建物に投資を行い、その豊かな遺産を保持していることの証となっています。この革新的な空間は、持続可能なモビリティを歴史都市の風景に溶け込ませる方法を模索する我々の討論を刺激する格好の舞台となることでしょう。会議を通して、参加者は、歩行者を優先した歩く市街地作りのための意見交換や、最適な実践方法の情報交換を行えると同時に、歴史都市での持続可能なモビリティへの取り組みに関する現状の課題及び機会についても話し合っただけです。

私たちは、共に、全ての歴史都市が抱える複雑な問題を提議し、持続可能かつ活気ある未来への道を切り開くのです。そのため貴殿の当会議への御出席及び貢献は非常に貴重であります。貴市の特色ある見解や経験は、私たちの議論の内容を有意義なものにし、持続可能な都市モビリティを促進させ、我々の文化遺産を保全するための実現可能な解決策に繋がるものと信じております。当会議に関して御質問等がある場合は、

[lhc2024@ljubljana.si](mailto:lhc2024@ljubljana.si) までお問い合わせください。

皆様を、来る11月、記憶に残る実り多き本イベントにお迎えすべく、リュブリャナ市でお待ち申し上げております。

リュブリャナ市長 ゴラン・ヤンコヴィッチ

リュブリャナ副市長 デヤン・クルネク

世界歴史都市連盟会長/京都市長 松井孝治



### テーマ

「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」

### テーマ選定の背景

リュブリャナ市は、歴史都市として、都市のモビリティと持続可能性を取り入れつつ、歩行者専用道を再整備することで、建物、サービス、公共施設、緑地などの交通接続性を強化・改善してきました。建築遺産を大切に、アクティブ・モビリティ（※）や持続可能なモビリティを推進することは、「健康で幸福な状態」、「文化遺産の保護」、「社会的包摂」を実現することと同義であると考えられています。

人を中心に置いた持続可能な歴史都市の発展のため、第19回世界歴史都市会議では、事例研究、政策、実践例を発表し、知識の共有を行うことを目指します。

※ アクティブ・モビリティ  
公共交通手段に代わる歩行や自転車など、人力による移動

## 会議公式ウェブサイトの開設及び参加登録

2024年6月1日から、第19回会議公式ウェブサイト（[ljubljana.si/lhc2024](http://ljubljana.si/lhc2024)）がオープンいたします。こちらのサイトにて会議情報が随時更新されるほか、参加登録についても案内されますので、ぜひ御確認ください。

会議登録料：500ユーロ

会議登録料には以下のものが含まれます。

- ・会議参加料
- ・シティ・ホテル・リュブリャナでの3泊分の宿泊料（チェックイン：11月11日、チェックアウト：11月14日）
- ・会議開催中の食事代
- ・エクスカーションに係る費用
- ・リュブリャナ空港・リュブリャナ市内往復交通費

## プログラム詳細

1日目 11月12日	2日目 11月13日	3日目 11月14日
10:00-12:00 開会式 基調講演	09:00-12:00 ユースフォーラム 専門家会議	09:00-12:00 エクスカーション (市内視察)
12:00-13:30 昼食	12:00-13:30 昼食	12:00-13:30 昼食
13:30-15:00 ラウンドテーブルI	<グループ 1> 13:00-14:30 理事会	13:30-15:30 総会 閉会式
15:00-15:30 コーヒーレイク	<グループ 2> 13:30-17:30 エクスカーション (シュコフィア・ロカ)	
15:30-17:00 ラウンドテーブルII	18:30- 夕食	
19:00- 歓迎夕食会		

## 基調講演者略歴

ヤネス・コジェリ教授（建築家・元リュブリャナ副市長）

リュブリャナ市出身の建築家。リュブリャナ大学建築学部の教授職に在任中、都市設計の講義を担当し、現代都市設計の運用方法に関する研究と開発に取り組んだ。専門は、都市開発における研究成果と再開発地域の再構築プロジェクトの検証。

2006年から2022年までリュブリャナ副市長として都市計画を担当し、2007年にリュブリャナ市中心部における自動車の乗入禁止に尽力した。数多くの受賞歴がある中、建築家という職業の発展に貢献したことが認められ、スロベニア建築家会議所の名誉会員となる。2024年5月には、リュブリャナ名誉市民の称号が授与された。

## 会議公式ロゴについて

1970年代の都市デザインに由来する本会議の公式ロゴマークは、都市にある5本の支線（幹線道路）を表し、各支線の間には緑の楔が打たれているように描かれており、それは、過去と現在、自然と都市の架け橋を表しています。過去と文化遺産を持つ歴史都市リュブリャナは、現代の息吹を感じることが出来る場所です。緑色は、持続可能性、安全性、バランスを象徴し、2016年欧州グリーン首都賞受賞都市としての市の役割をはっきりと示しています。5つの緑の楔は歴史的な都心部へと続き、時空を超えた旅を表現し、歴史・文化・環境へと私たちをつなげてくれます。このロゴマークは、リュブリャナの美しさ、豊かさ、多様性を見つけるための手がかりであると同時に、途切れることのない歴史の中に私たちが組み込まれていることを思い出させてくれるものです。

## プレゼンター募集

### 1. ラウンドテーブル（市長、副市長、市の代表者らによる会議）

#### テーマ

- ・ 歴史都市の都市部の質と魅力の要因としての「歩きやすさ」
- ・ 歴史都市で持続可能なモビリティを実現するための課題と方法

### 2. 専門家会議（専門家による会議）

#### テーマ

- ・ 文化遺産の劣化を防ぐための持続可能なモビリティ

### 3. 応募要項

6月1日	募集開始
6月30日までに	発表者と演題を提出
7月31日までに	発表内容の概要を提出（英字1,000字以内）

- ※ 発表時間は15分以内としてください
- ※ 応募者多数の場合は、提出された発表概要をもとに、選考を行う場合があります。

## 世界子ども絵画コンテスト及び 児童書展示会参加募集

### 1. 世界子ども絵画コンテスト

まちの遺産や観光スポットの本質を捉えた想像力豊かな絵画作品を募集します。描くものが歴史的建造物であれ、まちを象徴するシンボルであれ、独自性にあふれたユニークな作品を求めます。

-テーマ	: 歴史を守り、未来を想像する
-対象	: 加盟都市在住の7歳から15歳（1人1作品）
-大きさ	: 30cm x 50cm
-描画方法	: 自由
-提出方法	: デジタル形式（pdfファイル）
-各都市応募数	: 1点

### 2. 児童書展示会

まちのユニークな遺産、名所、民話、史実を紹介する多様な児童書を募集します。

-本の内容	: 地域遺産をテーマにしたもの（対象年齢：3～12歳）
-提出物	: 本の表紙のデジタルコピー、 作者及び/又は挿絵画家の氏名、概要（英語）
-各都市応募数	: 1点

- ※ 各都市から提出された絵画及び児童書は、全て会議会場にて展示されます。
- ※ 応募申込は加盟都市に限ります。
- ※ 2024年6月1日から9月30日まで応募を受け付けます。
- ※ 詳細は、公式ウェブサイト（[ljubljanasi.lhc2024](https://lubljanasi.lhc2024)）をご覧ください。

## エクスカージョン

### リュブリャナ市内視察

リュブリャナ市内視察では、参加者の皆様に、「持続可能な都市開発」を実際に目にさせていただく機会を提供致します。リュブリャナ市では、市街地への自動車での乗入れが厳しく制限・管理され、代わりに、無料の公共電気自動車Kavalir及びシェア・サイクルシステムBicikeljの利用が可能です。2007年に、リュブリャナ市は持続可能な都市モビリティの取組を始め、今日まで市民生活の質を維持しながら歴史的景観を保持してきました。2016年には、市の取組を称え“欧州グリーン首都賞”を受賞しました。また、市内各所では、スロベニアの偉大な世界的建築家であり都市計画家でもあるヨジェ・プレチニックの作品をご覧くださいことができます。視察を通してリュブリャナ市の顕著な側面をご覧くださいことで、ご自身の市の取組にお役立ていただけるものと確信しています。

### 中世の町「シュコーフィア・ロカ」

リュブリャナから車で1時間半ほどのところに、中世ヨーロッパの街並みが残るシュコーフィア・ロカがあります。旧市街地を散策すると、街並みや建物が最善の状態で保全されていることに気づくでしょう。シュコーフィア・ロカでは15世紀と17世紀の二度にわたり大きな地震を経験しましたが、町は見事に再建されました。また、この町は、2016年にユネスコ世界無形文化遺産に登録されたスロベニア最大の野外演劇「受難劇」でも有名です。高台を登っていくと、14世紀に建造されたシュコーフィア・ロカ城にたどり着きます。現在は博物館として公開されており、シュコーフィア・ロカの産業や歴史等を紹介しています。

### ヨジェ・プレチニック

1872年リュブリャナ生まれ。ウィーン・プラハでの活躍後、リュブリャナ大学での教授職への就任を乞われ、1921年に故郷のリュブリャナに戻り、リュブリャナの都市計画に着手。彼の作品は、オーストリア＝ハンガリー帝国の崩壊後、リュブリャナのスロベニアの首都としての新たなアイデンティティ確立に貢献。

### 会議会場：センターログ

センター・ログは、20世紀に自転車工場として使われていた建物をリノベーションし、2023年に新たに運営を開始した公共施設です。スロベニアの文化やクリエイティブ産業の振興の場として、研究室や、伝統的なハンドメイド製品のショップと工房を併設するほか、国際会議や展示会に使用できるコミュニティスペースも備えています。

### 京都市長からの会長就任挨拶

会員都市の皆様、この度第27代京都市長に就任、世界歴史都市連盟の会長職を拝命した松井孝治です。1994年に発足して以来30年もの長きにわたり、世界の歴史都市が交流を重ねてきた本連盟の会長としての重責と強い使命感を感じています。

私たちは今、世界各地で起こる紛争、急激な気候変動やパンデミックなど、多くの重大な危機に直面しています。そんな先行きが見通せない時代、人類の英知の結晶である歴史都市の果たすべき役割は大きくなっています。世界歴史都市会議は、国や民族など様々な違いを超えてモデルケースや成功事例などの知恵を共有し、都市と都市の連携を更に深める大切な機会です。会長として、この素晴らしい都市間ネットワークの発展に力を尽くし、加盟都市の皆様と共に、歴史都市の継承・発展、人類普遍の価値である平和な世界の実現を目指してまいります。

これからも積極的な御参加と御協力をお願い申し上げます。そして、今秋リュブリャナで皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

会長／京都市長 松井孝治



### 世界歴史都市連盟事務局

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地  
[lhcscity.kyoto.lg.jp](mailto:lhcscity.kyoto.lg.jp) <https://www.lhc-s.org>